
PTAをのぞいてみよう！

—コロナ禍におけるPTA活動の取組例について—



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、“新しい生活様式”に基づいた暮らしが定着しつつあります。そこで、PTA活動への支援の一環として、コロナ禍におけるPTA活動の現状や取組例をまとめました。PTAの概要や活動紹介をまとめた「PTAをのぞいてみよう！—2019年度版—」と併せてご覧ください。

1. PTA 活動の現状や取組例の紹介

町田市公立小学校 PTA 連絡協議会にご協力いただいたアンケート回答から、各学校における PTA 活動の現状や、工夫・取組例などを紹介します。

アンケート内容

①2020 年度の活動方針・実施の判断基準について

活動によって中止や規模の縮小など、その対応は様々だと思います。
1つ1つの活動を実施するかどうかを検討・決定するにあたって、
基本的な考え方や判断基準としているものはありますか？

②実施手法や手順の見直しについて【取組編】

PTA 会員向けに実施する活動のうち、規模の縮小や手法の工夫によって
開催（実施）したものはありますか？工夫した内容をぜひ教えてください。

③実施手法や手順の見直しについて【本部運営編】

PTA 運営を進める中で、手法の工夫や手順を簡素化するような工夫を
しているものはありますか？工夫した内容をぜひ教えてください。

④PTA 会員への対応について

コロナ禍中であることを踏まえ、PTA 会員に対して例年になく対応をとったり、
とくに気を遣っていたりすることはありますか？

～役員の方へお伺いしました～

⑤コロナ禍で PTA 活動に参加するにあたり、とくに気を付けていること

⑥コロナ禍で PTA 活動をしていて感じること

①2020年度の活動方針・実施の判断基準について

「PTA活動を行うことに対して、学校がどのような見解をもっているか確認しながら活動しています。」

「密にならないことを第一に、そのイベントの重要度を踏まえた上でコロナ禍中で開催が必要か、代替策は無いかを検討しています。」

「小学校のコロナ対策を判断基準としています。小学校が感染の拡大防止策をとったので、PTAも『活動しない、集まらない、広めない』を基本的な考え方として、今年度は活動を休止しました。」

「3密対策が一定の社会的要請に適合するかどうか？を基準としています。」

「学校の方針、判断に基づき決定しています。」

「以下の5点を指針とし、実施の検討をしています。」

- ①大勢の人が、長時間、その場に留まることがないか。
- ②開催場所が屋内・屋外どちらなのか。
- ③大人がどのくらい来場する予定か。
また、子供と接触せずに行える活動か。
- ④日時を分散することは可能か。
- ⑤近隣校が実施するかしないか。



②実施手法や手順の見直しについて【取組編】

「本年度はコロナの影響を受けほとんどの活動を中止しましたが、クラス委員や係決めなどの際に工夫をしました。3つの密を避けるため、保護者会の数日前からPTA活動変更点の説明プリントを配布しておき、質問を準備していただく時間を設けました。また、本部役員が事前にあらゆる質問を想定して回答を準備しておいたことで、会の時間短縮に繋がったと思います。さらに、会長がGoogls Meetでの説明を詳細に行うなど、PTA会員向けに内容をより分かりやすくしました。」

「屋外のイベントは行った。参加上限を設定することで十分な広さを確保し、3密を防止した。」

「運動会開催にあたり、本年度は『お助け隊(イベント等で保護者にお手伝いをお願いする)』を募らなかつた。そのため、会場設置準備、片付け作業については学校からお手伝いを募っていただき、本番での会場整理等を役員のみで対応した。参観場所での入れ替えをスムーズに行うよう専用のプラカードを準備し、学年ごとの色分けに合わせて周知したり、ゴール前の混雑防止の為に出走順をお知らせするなど、分かりやすいよう工夫した。その『お助け隊』が無いために、作業が大変な時には役員全体にお手伝いを募り、カバーし合って活動している。」

「アンケートの実施では、紙ベースだと回収・集計のためにみんなが集まらなければならないので、QRコードで回答できるような工夫をしています。」

「今年度は活動休止のため、実施した取組はありません。」

「工夫しながら、下記2つの取組を実施しました。」

- ①芋ほり(11月1日)
⇒2部制にし、1回の人数を減らした。
隣との間隔を開けて実施した。
- ②給食試食会(11月27日)
⇒人数を制限し、手洗い・マスク着用を徹底。
1クラスに入る人数を減らし、密を避けた。



③実施手法や手順の見直しについて【本部運営編】

「会議をできるだけ手短かにするため、議題や問題点を予めLINEで周知しておく。
毎年実施している近隣4校での懇談会を、アンケートでの意見交換として中止した。」

「簡単な打ち合わせはメールで連絡し合っています。また、本部役員が集まって活動する場合は、
前もって活動内容を精査することで、できるだけ時間の短縮をし、集まる回数を減らす工夫をしています。」

「ペーパーベースによる配布物をなるべくなくしたいと考え、QRコード付きのアンケートを配布、集計するなど工夫しています。また、次年度の本部役員を決める際、今年度から登録制度を取り入れています。児童が在籍している6年間で、一度以上役員になってもよい年度を選んでもらい登録し、登録年度になったら選考者の枠に入るしくみです。立候補者がいなかった場合、その年度の選考者はくじにより選出され、一度本部役員になるとその後5年間は役員を免除されます。これにより公平、公正な役員選出を実現することが狙いです。」

「学校側と共同作業しているものについて、イニシアティブを明確にして作業の効率化を図った。
予約システム・アンケートシステムを導入し、自動化・ペーパーレス化を促進した。」

「出来るだけLINEなどを駆使し、集まらないかたちで会議をしている。
また、ベルマークなど、家で個々にできることのボランティア募集も行っています。」

「PTA主催の行事や活動、話し合いについては、国や自治体、学校の判断に基づき、学校と都度連絡を取り合いながら整合性を保つように心掛けて決定しています。さらに、下記のとおりオンライン化を進めました。

- ①アンケートをオンライン回答とした。
- ②PTA室の予約をアプリで管理し、来校回数を減らした。
- ③PTA総会を書面総会で行った。

④PTA会員への対応について

「常に密にならないように意識しており、委員会や係の連絡事項は極力SNSツールを利用して行っています。
また、選考会などどうしても人数が必要な際には、十分な広さのある部屋の確保、換気、時間短縮に努めるよう事前に入念な準備をして臨んでいます。」

「①密にならないこと、②会議する際の部屋の換気、③会議後のお茶しながらの懇談をしない、の3つに注意しています。
新型コロナに関して不安を募らせている方もいらっしゃるのので、自分も勉強の機会ととらえていろいろ調べた上で、活動に際してできるだけ丁寧な説明をすることで、少しでも不安を払しょくできるように心掛けています。」

「PTA会費の徴収を今年度は中止したため、イベントや広報誌など例年通りのPTA活動は難しく、今年度はなしにしました。また、現在PTA会費は現金徴収となっているため、どうしても密になってしまう。徴収方法についても、他に改善できないか検討中です。」

「今年度は運営スタッフ(本部役員)、各部部长、副部长のみ選出、各部部长の募集はしませんでした。」

「例年になく対応は、今年度のPTA活動を休止にしたことです。初めての対応だったため本部役員も保護者も当初は不安になりましたが、本部役員はこの状況下でできる活動をし、また保護者にはお手紙で活動の様子をお知らせして、不安にさせないようにしています。」



～役員の方へお伺いしました～

⑤ コロナ禍でPTA活動に参加するにあたり、とくに気を付けていること

「マスク着用、手洗い、うがい、アルコール消毒、換気などの基本的な感染対策を徹底。緊急事態宣言の際の情報交換は密を避けるためZOOMにて行いました。」

「LINEなどを活用して情報共有を行い、できるだけ集まる回数を減らした。」

「保護者がコロナ禍の中での活動に不安にならない、また精神的負担にならないように気を付けています。また保護者が活動することで『感染を広めない』ようにも気を付けています。」

「集まる際は、できるだけ短時間で終わるよう調整し、換気をしながら行った。」

「検温、消毒、マスク着用、三密の回避」

「会議をするときは風通しよくして、席も間隔を空けています。PTA室に消毒液を設置しています。」

「少ないPTA活動にきちんと参加できるよう、体調管理に気を配った。」



⑥ コロナ禍でPTA活動をしていて感じること

「例年ではなかなか行えない、PTA活動自体の見直しを行った。今までは、仕事をしているとPTA活動に携わることは難しいという認識があったが、簡素化することによって沢山の保護者が参加することができ、より良い活動ができると思う。」

「行事が減ったからこそ、行事一つ一つの大切さを感じた。」

「対面での意見交換が難しい状況下でPTA会員の真意を測ることの難しさを感じる一方、本部が連携して報告・連絡・相談しながら入念な準備をして会議などに臨んでおり、本部の結束力の強さを感じています。また、人との繋がりが疎遠になりつつある世の中において、出来るだけ子どもたちが安全に安心して学び、かつ笑顔になれる環境を整えることの必要性を感じます。子どもたちの笑顔は大人の言動や関わり方にも大きく左右されると考え、責任感のある振る舞いをすることが大切だと感じます。」

「基本的に活動は人が集まることが多いので、『イベントを成功させる』の前に開催の可否や、感染防止策などから考えなければならないことに手間がかかる。」

「連絡調整やアンケート等オンライン化を進めているが、PTA室のインターネット環境が整っていないため、個人のもので行うことが多いです。学校全体のインターネット環境の整備をできれば早めにしていただきたいです。」

「未だにPTA通信など印刷をしているので、これがSNSを活用して発信できればと思う。多くの会員が『無駄な作業が多い』との認識を持っていると感じる。」

「『ずっと引き継がれてきた活動だけど、それって本当に今必要な活動？』ということや、『PTAが活動する意味』が見えました。」

2. コロナ禍でのPTA活動について

「1. PTA活動の現状や取組例の紹介」をもとに、
コロナ禍でPTA活動を行う上でのポイントを整理します。

①活動方針・実施の判断基準について

主な回答

- 学校の方針や見解に基づき判断する。
- 3密防止を第一に、活動の実施を検討する。

Point 📌

PTA活動の主な場所は学校であるため、まずは学校の方針をしっかりと確認することが大切です。活動にあたっては、コロナ禍で実施することの必要性をしっかりと議論した上で、無理のない手法・範囲での実施について検討する必要があります。

②実施手法や手順の見直しについて【取組編】

主な回答

- 今年度の活動を全面休止とした。
- 屋外イベントのみ実施し、PTA活動へ参加する保護者数も縮小した。
- イベントでは、参加者の分散化や混雑緩和につながる工夫を行った。

Point 📌

イベントを実施する場合は、3密防止のために参加者を最小限に抑える工夫をするとともに、3密防止対策が難しい場合は、中止の判断をすることも必要です。



③実施手法や手順の見直しについて【本部運営編】

主な回答

- LINE 等を駆使し、対面型の会議はできるかぎり実施しない。
- 人が集まる会議では、会議時間を短縮するための準備を事前に行った。
- PTA 室の予約やアンケートなどのオンライン化を促進した。

Point 📌

活動を進める上で本部役員同士の打合せは欠かせないものですが、LINE などを活用することで「集まらない会議」にシフトしている団体が多いようです。また、オンライン化を促進することでペーパーベースによる配布物や申請等を少なくできるため、役員の来校回数を減らすことにもつながります。

④PTA 会員への対応について

主な回答

- 保護者の不安感を軽減するため、お手紙で活動の様子をお知らせしている。
- 会議等では3密対策をとり、参加者へ丁寧な説明を心がけている。
- 活動の縮小に伴い、本部役員は最小限の募集を行った。

Point 📌

コロナ禍で PTA 活動をするに対しては、保護者一人ひとりがさまざまな見解を持っており、中には不安を募らせている方もいらっしゃいます。そのため、イベント等を実施する場合は、案内文やお知らせで事前に丁寧な説明を行うことが必要です。



⑤コロナ禍でPTA活動に参加するにあたり、とくに気を付けていること

主な回答

- 保護者が活動することで『感染を広めない』よう気を付けている。
- 検温、マスク着用、消毒、3密の回避を徹底。
- 保護者が不安にならない、また精神的負担にならないよう気を付けている。

Point

子どもたちのためのPTA活動が原因で、学校での感染を広めてしまっただけでは本末転倒です。PTA活動に参加する一人ひとりが自己の体調管理をしっかりと行うとともに、集まる際には、マスク着用、消毒、3密防止などの基本事項を徹底しましょう。

⑥コロナ禍でPTA活動をしていて感じること

主な回答

- 行事が減ったからこそ、行事一つ一つの大切さを感じた。
- 従来の手法では活動しづらい状況のため、環境の整備が必要。
- PTA活動自体の見直しを実施し、活動の意義を再認識することができた。

Point

コロナ禍で思うように活動できない一方で、例年ではなかなか手が出せないPTA活動自体の見直しや、新たな実施手法の導入などに取り組んでいる団体もあるようです。PTAと学校が協力し合いながら一緒に対応していくことが大切です。



—2020年12月発行—

この冊子に関するお問い合わせ

町田市教育委員会

生涯学習部生涯学習総務課 総務係

TEL：042-724-2181